



5月園だより

令和7年5月1日

目黒区立原町保育園園長

先月4、5歳児クラスの子どもたちと野川公園に遠足に行きました。「遠足」がうれしくてバスの中から盛り上がり、「わぁ、ビルも走ってる」とバスのスピードに合わせて動く景色を楽しみ、お気に入りの歌を大合唱するなどしているとあっという間に公園に到着し、大きなこいのぼりが出迎えてくれました。

まずは、4、5歳児のペアでオリエンテーリングを楽しみました。園長とは「握手をして名前を聞く」という課題でした。「お名前教えてください」と5歳児が聞くとそれに習って4歳児も続きます。名前を伝えるとそれを受けて「〇〇 〇〇です」自分の名前を返してくれる子どもたちもいて素敵な挨拶が身についていることを感じ、うれしかったです。

その後は、クラスごとに分かれ、タンポポが咲き乱れる野原を散策しました。小高い丘では駆け上っては走り下りたり、寝転がってゴロゴロ転がり下りたりして草だらけになりながらも自然と一体化して草のにおい、地面の感触、遮るもののない広い空など体中で感じ取っていました。木の実やどんぐりも落ちていて拾い集める姿もありました。広い野原を駆け回る子どもたちは心も体も開放されている様子で、いい笑顔が見られ園外保育の目標を達成できた一日となりました。

先日の全体保護者会にはたくさんの保護者の方のご出席をいただきましてありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

懇談会の予定

2歳児クラス懇談会

5歳児クラス懇談会

0歳児クラス懇談会

1歳児クラス懇談会

* 懇談会は3階ホールで行います。

(16:30~18:00)

春の定期健診 (0.1.2 歳児)

ポニー教室 (5 歳児)

春の定期健診 (3.4.5 歳児)

避難訓練・身体計測



こいのぼりをつくりました 🐟 5歳児クラス



色付けの様子です。どんな風に色がつくか楽しみです。



結んでいた部分を外しています。綺麗に染まっています。



色々な色の鱗がきれいなこいのぼりが完成しました。



各クラスの様子



入園、進級から 1 ヶ月が経ち、楽しく遊ぶ姿や進級して大きくなったことを喜んでいきます。

各クラスの子どもたちの姿をお知らせします。

かえで組（0歳児クラス）

初めての保育園生活に少しずつ慣れてきて、保育士に抱っこされたり、あやされると笑顔を見せてくれるようになってきました。お座りや腹這いで遊んでいると近くにある玩具によく手を伸ばしています。「これが欲しかったのね。はい、どうぞ」と手渡した時や、すり這いや四つ這いで取りに行った時に「とれたね」と声をかけると保育士と目を合わせています。一緒に遊ぶと満足そうな表情を見せてくれたり、保育士の真似をして玩具や体を揺らしています。「これが欲しい」「お腹空いた」「眠い」などの気持ちを汲み取って応え、一緒に楽しく遊ぶ中で信頼関係を作り、安心して笑顔で過ごせるようにしていきたいと思います。

いちよう組（2歳児クラス）

新しい環境で不安や緊張の中一人ひとりの気持ちを受け止め過ぎてきました。パズルで遊んでいると隣で同じことをしている友達が気になり「だれ？」と聞いている姿がありました。聞かれた子が嬉しそうに答えたと尋ねた子がすぐに「〇〇ちゃん！」と呼び、他の遊びも一緒に遊ぶようになっていました。朝も次はだれが登園してくるか、ちらちら受け入れ口を見たり支度中でも「来たよ！ほら！」と迎えにいく姿も多くなっています。気になる友達がが増えて関わりが広がっていくよう見守ったり保育士も一緒に楽しんでいきます。

ぽぷら組（4歳児クラス）

ぽぷら組になり、新しい環境にドキドキしながらもお兄さんお姉さんになったことを喜んでいる子どもたちです。カプラのやぐらや螺旋階段の完成した写真を見つけると「これが作りたい！」と、写真を見ながら真剣な表情で作ったり、途中で崩れてしまっても「次は完成させたい！」とあきらめずにまた作り直しています。白木の積み木では電車やお家など、イメージしたものを形にし、友達とやりとりをしながら楽しそうに遊んでいます。生活面では保育士の話を聞いて次は何をするのかを知り、時計を見て「長い針が〇〇になったから片付けよう！」「〇〇になったよ」と、子どもたちから気付き片付けはじめる姿が増えてきました。見通しを持って次のことに向かい、身の回りのことは「自分でできるよ！」と意欲いっぱいの子どもたちです。

くすみ組（1歳児クラス）

安心できる保育士と一緒に好きな遊びを探したり、友達のやっている遊びをじっと見て真似たりする姿が出てきました。園庭での遊びも楽しくなっていて、保育士と一緒に砂を触ったり、タイヤの中に入ったり、それぞれ好きな遊びを見つけ始めています。保育士がボールを転がすと、「まて～」と一生懸命追いかけていき、見事キャッチすることができると、振り返ってとってもいい笑顔を見せてくれました。これからもたくさん体を動かしたり探索を一緒に楽しみながら、一人ひとりの発見や気付きを大切に関わっていききたいです。

さくら組（3歳児クラス）

憧れの幼児クラスになったさくら組の子どもたち。朝の身支度をお家の方と一緒にいたり、身の回りのことも自分でやろうと頑張っています。室内では積み木遊びが大好きで、ドミノ倒しのように積み木を並べたり、高い塔のように積み木を高く積んだり自分のイメージを持ちながら作っています。自分のものを作りながらも隣で作っている友達の作品にも興味津々。一緒に遊びたくて「これとこれを一緒にしたらいいんじゃない？」「いいねえ、そうしよう」と友達とやりとりをしながら楽しむ場面もでてきました。友達との関わりが増え、一緒に遊ぶ楽しさが広がってきた子どもたちです。

くすのき組（5歳児クラス）

ぽぷら組の3月から始めた“ドッチボール”を継続して楽しんでいます。夢中になって楽しんでいるからこそ、勝敗が決まると喜んだり泣いたり気持ちの動きが大きいです。「どうしたら勝てるのかな」と保育士がつぶやくと、「(皆で) 話そうよ」と一人の子が声をあげました。他の子も「作戦、作戦」と集まり話し合いになりました。「体の真ん中に当てるのはどう？」「皆（同じ所に）集まるから、ぱーっとにげた時に当てるのがいいよ！」など意見が出てきました。今の姿はボールから逃げ回る子が多いので、色々と考えていることに驚かされました。これから子どもたちの考えを引き出しながら、友達と意見を出し合い遊びや生活を進める楽しさを感じていけるようにしたいです。